

2017年10月31日

デジタルビジネス時代の IT 運用の最適化を支援する 統合システム運用管理「JP1 V11.5」を販売開始

株式会社日立製作所(以下、日立)は、このたび、統合システム運用管理「JP1」の最新版である「JP1 V11.5」を製品化し、11月1日から販売開始します。具体的には、ジョブ管理を実現する「JP1/Automatic Job Management System 3」や障害発生時の調査・分析を支援する「JP1/Operations Analytics」など「JP1」の各種機能を強化し、デジタルビジネス時代における IT 運用の最適化を実現します。

また、6月末に発表した、「JP1」を活用した「IT 運用最適化サービス」において、新たに機械学習の活用を支援するサービスを追加し、11月30日から提供開始します。

近年、デジタルシフトが加速し、さまざまなデータの利活用を通して新たな価値を創造しビジネスにイノベーションを起こす企業が増えてきています。一方で、既存の IT システムにおいては、投資や運用コストの徹底した削減が強く求められており、クラウドサービスの本格的な活用が広がっているほか、企業の統合やシステムの統合が進み、業務、システム、運用の統合、共通化による運用効率改善とシステムの安定稼働の両立が課題となっています。

このような背景のもと、日立は、2016年1月に販売開始した統合システム運用管理「JP1 Version 11」の機能強化版として、激変するビジネス環境に適応し、デジタルビジネス時代の IT 運用を最適化するため「JP1 V11.5」を新たに製品化しました。また、AI 技術活用の機運の高まりを受けて、「IT 運用最適化サービス」において、機械学習の活用を支援するサービスを新たに提供開始します。

それぞれ今回強化したポイントは以下の通りです。

■「JP1 V11.5」の主な強化ポイント

1. デジタルビジネス時代を見据えた大規模対応強化により、業務システムの運用効率を向上

企業統合やシステム統合を機に、拠点ごと、システムごとの独自の運用から、業務運用の統一化をはかることで運用効率を改善し、運用コストの削減や運用品質の向上に取り組むユーザーが増えています。このため、国内トップクラスの実績を誇るジョブスケジューリング製品「JP1/Automatic Job Management System 3」では、業務システムのさらなる大規模化にも耐えうる性能向上、管理対象数の拡張を行いました。具体的には、製品のアーキテクチャの改善により従来比*1で最大約10倍のジョブ実行性能を実現したほか、管理サーバ1台で管理可能な実行エージェント数を従来比*1で2倍に拡張し、業務運用の集約、統合を可能にしました。

*1 従来バージョンである V11.1 との比較

2. システム構成の可視化をさらに強化し、業務システムの健全性を容易に確保

クラウド化や統合・集約が進む IT システムにおいて、システム全体の健全性の把握と障害発生時の影響の特定、迅速な対処は以前にもまして重要となっています。業務システムとそれを構成するアプリケーション、サーバやストレージ、ネットワークなどのインフラの関連性や稼働状況を可視化し、システム全体の安定稼働を支援する「JP1/Operations Analytics」では、市場で導入が増えている SAP S/4HANA®や Zabbix*2 に対応した

ほか、Amazon Web Services™や Microsoft® Azure™などのクラウドサービスを構成把握の対象に加え、業務システムの健全性を可視化できる範囲を拡大しました。また、性能障害が発生した際、相関分析により問題発生箇所と類似性の高いリソースを自動抽出して表示することで、より迅速な根本原因の特定が可能となりました。さらに、稼働状況の定期報告やキャパシティプランニングのためのグラフ化やレポート作成が容易になり、運用改善やコスト削減につながる気づきを与えるレポートとして容易に活用できるようになりました。

*2 オープンソースの統合監視ソフトウェア

■ 「IT 運用最適化サービス」の強化ポイント

IT 運用への機械学習適用を支援し、運用コスト最適化を実現

IT 運用のさらなる最適化に向けて、専門性や属人性の高い作業に機械学習を適用したい顧客に対し、2017年7月から提供開始している「IT 運用最適化サービス」において、新たに IT 運用への機械学習適用に関するコンサルティングから運用改善の実現までの支援を行います。具体的には、大量に発生するイベント情報のエスカレーション判定の自動化や、障害分析の支援、障害予兆の検知などの分野において機械学習適用を支援します。

このほか、利用型ニーズの高まりを受けて、従来の永久ライセンスの販売に加え、「JP1」主要製品のサブスクリプション提供を 2017 年度内を目処に開始する予定です。これにより任意のクラウドサービス上などで「JP1」製品を活用する場合に、年契約でのサブスクリプションを選択できるようになり、投資コストの平準化が可能となります。

主な強化製品および関連ソリューションの価格と提供開始時期

名称	概要	価格(税別)	出荷時期/ 提供時期
JP1 V11.5 ソフトウェア製品			
JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager	業務を決められた順序で、スケジュールに従って自動実行する製品	270,000 円～	2017 年 11 月 30 日
JP1/Operations Analytics	IT システム全体の運用を分析する製品	360,000 円～	
関連サービス			
IT 運用最適化サービス	IT システムの運用プロセスを標準化・自動化し、運用の最適化を支援するサービスにおいて、機械学習の適用支援を開始	個別見積	2017 年 11 月 30 日

統合システム運用管理「JP1」に関するウェブサイト

<http://www.hitachi.co.jp/jp1/>

関連ニュースリリース

- ・統合システム運用管理「JP1 Version 11」を販売開始（2016年1月12日）
<http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2016/01/0112.html>
- ・「IT 運用最適化サービス」を提供開始（2017年6月29日）
<http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2017/06/0629.html>

商標注記

- ・HITACHI、JP1 は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。
- ・Amazon Web Services は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- ・Microsoft および Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・SAP、SAP HANA および本文書に記載されたその他の SAP 製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国々における SAP AG の商標または登録商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お問い合わせ先

株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 IoT・クラウドサービス事業部

電話でのお問い合わせは HCA センター(Hitachi カスタマ・アンサ・センター)へ
(フリーダイヤル)0120-55-0504

受付時間：9:00～12:00,13:00～17:00(土・日・祝日・弊社休日を除く)

以上